

ナチスに抵抗 12年間 ドイツ市民の歴史

ベルリン・記念館を訪れて

多様なレジスタンス

戦時下の全体主義と暴力に押し、
一人ひとり何ができるのか。ドイ
ツの首都ベルリンには、ナチスに立
ち向かった人々をテーマにした「ド
イツ抵抗記念館」があります。12年

自由願う青年の模索

目を引くのは、青年た
ちの運動です。
33年1月に政権についた
ナチスは、ドイツ国内のあ
らゆる青年団を解散させま
した。「ヒトラー青年」下
取り戻すのか。残された言
語を真から、思想信条の
違いを超えて懸命に模索す
る姿が浮かび上がるよう
でした。
青年たちは、禁止された
と二線を叩き手段となりま
した。

表通りから、記念館の入
り口となる薄暗いトン
ネルを抜ける。石畳の広場
とくくしい調の白い建物
が目前に広がります。
旅行者や親子連れ、団体客
など訪れる人の姿は途切れ
ません。
記念館は、かつての陸軍
最高司令部。現在は連邦国
防省の敷地内にあります。
創立のきっかけは、ヒトラ
ーに対する軍事クーデター
を企てたレジスタンス・フ
ンベルク閣僚らの遺族が、
1953年に建てた小さ
な石碑でした。記念館
は国とベルリン市の財政で
運営され、来年、建立70年
を迎えます。
歴史室内をはじめ通路ま
でも、抵抗した人々の写
し。

真と名前が記されたベル
ン「赤いオケストラ」と称
された100人組の緩やか
なネットワークでした。
ベルリンで30年代半ばか
ら公務員、芸術家、ジャ
ーナリスト、学生などが
集い、迫害者の支援やナ
チスの暴力犯罪の記録、
政治教育に取り組んだの
です。
中心人物の航海省職員シ
ュルツェン氏、経済
省職員ハルナック氏は軍
部の機関報を米軍や連
に流すなど、抵抗のために
諸外国との連携も試みま
した。ヒトラーの権力を支
えた秘密警察シュタボの
監視は厳しく、42年までに50
人以上が命を落としたとい
います。



「人間の底力感じた」
展示室ではガイドの解説を熱
心に聞く学生や、パネルを食
入るように見入る人もいまし
た。イタリヤからきたアンジェ
ロさん(38)は「人間の底力を
感じる力強い展示だった。少数
派だったが、それでも、第2次
に命をかけて反対した人々
は、歴史と、人々の記憶に残
るべきだと語りました。
ある職員は展示について「人
権と民主主義が踏みにじられ
たとき、人々はとうとう動け
るかを考える一助になると話
します。
凄惨な歴史に対しても多角
的に、真摯に向き合うドイツの
姿勢に、これからは学びたいと思
いました。」



抵抗記念館内で熱心に展示を見る人たち

◆ナチスをめぐる動き

1919年6月	ドイツはベルサイユ条約を受け入れ、第1次世界大戦で敗戦国となる。多額の賠償金を支払い、一部領土を失う
29年10月	世界恐慌始まる。多数の失業者が生まれる
32年7月	国政選挙でナチスが第1党に
33年1月	ドイツ大統領がヒトラーを首相に任命
2月	ドイツ議会放火事件。共産主義者の国家転覆の企てとして「大統領緊急令」を公布し共産党を弾圧
3月	立法権を国会に代わって政府(ヒトラー内閣)に与える「全権委任法」が成立。ナチス以外の政党を違法とし、全政党が解散
35年9月	ユダヤ人から公民権を剥奪する「ニュルンベルク法」が成立
39年9月	ドイツがポーランドを侵攻し第2次世界大戦が始まる 軍需工場での任務放棄など職場での抵抗運動
42年6月	学生反ナチ活動家グループ「白バラ」が結成される
44年	軍部によるヒトラー暗殺未遂事件
45年4月	ヒトラー死去
5月	ドイツが連合国に無条件降伏



抵抗記念館の前にある彫像



抵抗記念館の展示